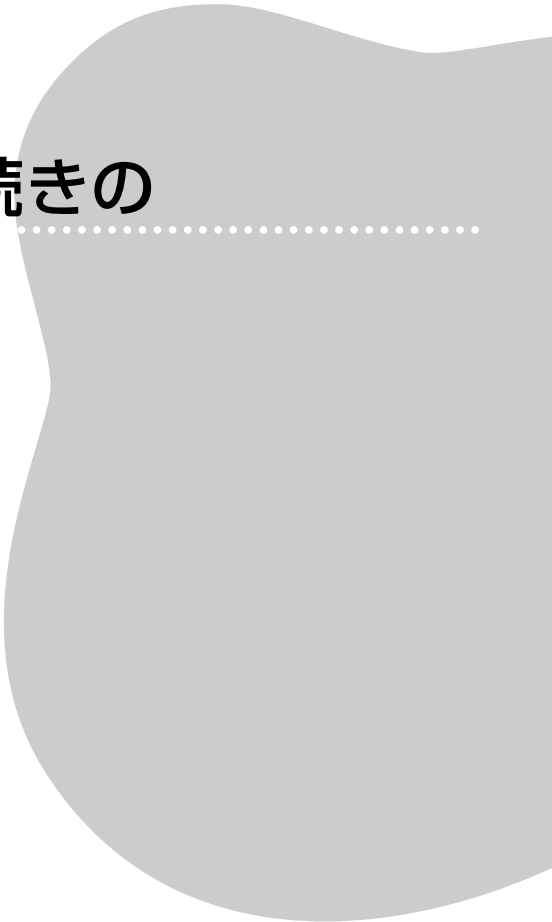


5部

4月生
進級手続きの
ご案内



1 正科生の進級手続き（4月生）

1 進級手続きの流れ

●来年度学費納入依頼書＝2／3発送予定

- ・学費納入をされた方へ順次「履修希望科目登録用紙（OCR）」を送付しています（早めに履修登録を行えば早めに教科書が届きます〔3／5以降発送予定〕）。
- ・下表の日程で諸手続きを行えば、新しく履修登録した科目でも3／18以降開講のスクーリングを受講可能です。

●進級の流れ・履修登録の諸注意（下記①②を参照）

①『学習の手引き』4章「Ⅰ 正科生の進級手続き」

※2017年度より「宅配便宛名用紙」と「レポート用紙送付申込書」は送付されません（その他の変更点は本冊子6部参照）。

②「履修希望科目登録用紙（OCR）」に同封される手紙

●スクーリング受講可能日と学費納入・履修登録期限

	学費納入期限	履修登録期限（必着）
3／18～27の春期スクーリングⅠ	2／12	2／23
4／15～23の春期スクーリングⅡ	3／20	4／3
4／30～5／14の春期スクーリングⅢ	3／31	4／17

2 復学希望者

現在休学中で4月からの復学希望者は、「（退・復）学願」（本冊子or『学習の手引き』巻末）を、1／31（遅くとも3／31）までにご提出ください。受理後、2017年度の学費納入依頼書をお送りいたします。

3 休学希望者

4月からの休学希望者は、『学習の手引き』4章Ⅱを確認のうえ、「休学許可願」（本冊子or『学習の手引き』巻末）を3/31までに提出してください。「休学許可願」の受理後、休学費納入依頼書（1万円）をお送りいたします（2005年度以前の入学者は除く）。

注1）休学は1年単位です（復学は2018年4/1以降可能）。

注2）休学中はレポート提出，科目修了試験受験，スクーリング受講はできません（図書館：利用可。『With』：送付されます）。

注3）来年度の学費（8～12万円）は納入しないでください。

注4）3月末までのスクーリングは履修登録済みであれば受講可能です。

4 在籍期間満了予定者へのお知らせ

1年後の2018年3月末で在籍期間が満了（1年次入学者＝10年 2年次編入学者＝9年 3年次編入学者＝8年）となり，退学になる4月生の方は，下記のとおりです。

- ①学籍番号08で始まる正科生で休学したことのない方
- ②学籍番号07で始まる正科生で休学を1回（1年分）した方
- ③学籍番号06で始まる正科生で休学を2回（2年分）した方
- ④学籍番号05で始まる正科生で休学を3回（3年分）した方
- ⑤学籍番号04で始まる正科生で休学を4回（4年分）した方

卒業や目指す目的を是非成就していただければ，と心より願っておりますが，学習計画上，下記の点にご注意ください。

- (1) 在学期間（1年次入学者＝10年 2年次編入学者＝9年 3年次編入学者＝8年）後の休学はできません。そのため⑤に該当する方は休

学ができませんので、来年3月末で在籍期間が満了になります。

- (2) 在籍期間が満了になっても、再入学は可能です。再入学した場合、これまでに修得した単位は、再入学年度のカリキュラムに合わせて単位認定されます。

5 転学科希望者

『With』120号 p. 31記載のとおり、転学科を希望する方の応募書類の受付は1/20で終了しました。

2 4月に編・再入学を希望する場合

①科目等履修生から4/1付で正科生1年次・2年次・3年次に(編)入学

②正科生を退学or卒業し科目等履修生に再入学

上記①or②を希望する場合は、下記を行ってください。

- ・2/28までに「再入学予定者 事前申告書」(『With』119号巻末)を提出(未提出で3月のスクーリング受講・レポート提出を行った場合、再入学できない場合があります)。

- ・4/15までに出願(『学生募集要項 2017』をお取り寄せください)。

注1)『学習の手引き』4章Ⅲおよび『学生募集要項 2017』をよくご確認ください。

注2)「退学願」(卒業以外の正科生)、もしくは「学生証返納・修了届」(科目等履修生)の提出も3/31までに行ってください。

注3)再入学時点での学費やカリキュラムが適用されるため、学費は現在よりも高くなり、カリキュラムも変更になる場合があります。

※特別支援学校教諭免許状および高等学校免許状(福祉)について

は、取得ができなくなります。

注4) 現在の学籍で3月にスクーリング受講・レポート提出をする場合は、それらの結果が出た後4/15までに再入学手続き（出願）を行ってください。

【学習上の空白期間のご注意】

4月以降の学習開始が新学籍での履修登録完了後となるなど、手続きには時間がかかるため、学習上の空白期間（レポート提出、スクーリング受講、科目修了試験受験ができない期間）が発生します。

3 科目等履修生の継続手続き

※『学習の手引き』4章IVもよくご確認ください。

1 来年度の継続を希望される科目等履修生

【4月入学の科目等履修生の方へ】

大学より、「継続手続き書類」が届きましたら（2月上旬・幼保特例講座受講者は2月下旬）、よくご確認のうえ下記手続きを行ってください。

- ・継続手続き書類（「履修希望科目登録用紙（OCR）」等）の返送＝4/10まで
- ・授業料（1単位あたり6,000円）の納入＝4/20まで

※今回の継続にあたって在籍更新料30,000円は不要です（学籍番号が12TZ・15TZ・15TG・15THで始まる4月生は2018年3月末まで、13TZ・16TZ・16TG・16THで始まる4月生は2019年9月末までは、毎年履修登録・継続手続きを行えば在籍更新料なしで在籍が可能です）。

※高等学校教諭免許状（福祉）の「教職に関する科目」につきまして、
2017年度に正科生の履修者がいない可能性があります。その場合、履修
登録はできませんのでご注意ください。

【2014年4月入学の科目等履修生 14TZ・TG・TH001～399の方】

【2014年4月に在籍更新をした科目等履修生03～11TZの学籍の方】

大学より、「在籍更新手続き書類」が届きましたら（2月初旬）、よくご
確認のうえ下記手続きを行ってください。

- ・在籍更新手続き書類（「履修希望科目登録用紙（OCR）」等）の返送＝
4／10まで
- ・授業料（1単位あたり6,000円）、在籍更新料（30,000円）の納入＝4／
20まで

※上記の科目等履修生の方は、2017年3月末で一旦現在の学籍が修了扱
いとなり、2017年4月以降も継続して学習する場合は在籍更新手続き
および在籍更新料が必要になります（以後3年間在籍すること）。

※学籍番号は変更になりません。

※2017年度入学者のカリキュラムが適用されます（ただし、高等学校教
諭免許状（福祉）、特別支援学校教諭免許状を希望している方は、
2014年度入学者のカリキュラムを継続することができるものとしま
す）。

2 来年度の継続を希望されない科目等履修生

「科目等履修生 学生証返納届」(『学習の手引き』巻末様式19(幼保特例講座受講者のみ希望によって様式15))に学生証を貼付のうえ送付してください。

※単位修得証明書の発行をお急ぎの場合

2/28の提出期限にかかわらず早めのレポート提出を！

3 現在在籍中のすべての4月生科目等履修生の方へ

- ・継続手続きを行わない場合の在籍期限＝3/31まで
- ・今年度のレポート提出期限＝2/28まで(ただし早めにレポートを提出しないと「再提出」の機会がなくなりますのでご注意ください)
- ・科目修了試験受験・スクーリング受講期限＝3/10まで(3/11以降のスクーリング受講を希望する方は別途お申し出ください)

※科目等履修生に休学制度はありません。新年度の履修登録を4/10までに行わない方は修了となり学籍を失います。

スクーリング・アンケートより(2)

アンケートより、スクーリング講義の感想を抜粋しました。

●社会保障論 阿部裕二 仙台

- ・「社会保障」というとても広範囲な分野で、たくさんの学びが得られました。講義の間に先生の経験談を入れてくださり、難しい科目もリラックスして聞けました。20代の若いときに「どうして生きていく上で必要な社会保障の知識を教えてもらう機会が今までなかったのか。」と思いました。良い学びとなりました。

●福祉法学 菅原好秀 盛岡

- ・法律関係は苦手意識がありましたが、先生が難しい用語も例を出して説明してくださり理解しやすかったです。全ての人がどんな法律に守られ生活できているのか考える機会となりました。より深く学びたいと思える講義でした。

●介護概論 後藤美恵子 仙台

- ・介護をする上で、援助者としての姿勢やどうしたら介護が必要な対象者が自己実現できるのかなど、多くのことを学ぶことができました。特に認知症の方に対してどのように接するのか具体的に理解できました。

●介護概論 城戸裕子 東京

- ・お世話をするというイメージしかなかったが、スクーリングを受講してから考え方や観点が変わり、違った意味で捉え方が新たになった。法制度の成立背景やアセスメント方法など専門的知識を身につけることができた。介護用品なども実際に触れることで貴重な体験となった。

●人間と福祉 田中治和 仙台

- ・福祉を職業としていくうえで、知識だけではなく人との関わりが、相手の人生を左右するくらい重要なことだと改めて考えさせられた。また、グループワークを経験しましたが、様々な環境の方々と話し合っ、考えを聞くことで知識が深まりました。
- ・なぜ大学で学ぶのかという「問い」から始まり授業が展開されていくため、考える力が身につくと思いました。そして、「楽しく学ぶことが学問です。」と話されており、楽しく自分に問いかけながら考えることができる授業でした。